

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1248
施設名	杉並の家ことり保育園
施設所在地	東京都杉並区浜田山4-9-15
法人名	社会福祉法人けいわ会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

乳児期の心身の健康を育むサーキット遊び

<テーマの設定理由>

室内でも這う・走る・跳ぶなど全身を使った動きを取り入れ、保育者や友達と体を動かす楽しさを知る。
基本的な動きを繰り返し楽しみ「できた」という達成感を味わうことをねらいとしてテーマ設定を行った。

2. 活動スケジュール

2025年度4月より毎月1回、各年齢に合わせた環境設定を、体操教室の講師に行ってもらい活動を行った。
また講師から学んだ環境設定や配慮の仕方をもとに毎週水曜日”サーキット遊びの日”として活動を行った。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
講師のアドバイスをもとに職員間で話し合いを行い、子どもの発達にあった運動用具（巧技台、クッション性のあるステップ、鉄棒、跳び箱等）を組み合わせて運動遊びを楽しめるようにした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

月1回、体操教室の講師による発達別の環境設定を行ってもらい、発達別のグループを作り（0, 1, 2歳児クラスを4グループ化）活動を行った。水曜日も同様のグループで15分ごとの活動を行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

0, 1歳児クラスに体幹の弱い子どもが数名いたが、繰り返し活動を行うことで、体幹が鍛えられ歩行が安定してきた。1歳児クラスの高月例の子どもや、2歳児クラスの子どもは、簡単なルール(順番・待つ)への意識が芽生えていた。また、毎回子どもたちの様子を丁寧に見守り、内容の難易度を挙げていったことで、挑戦する気持ちや「できた」という達成感を味わっていた。保育者は月例ではなく一人ひとりの発達段階を見極めて援助することが出来た。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

体操教室の講師から運動遊具の使い方や組み立て方の指導を受けたことで、子どもの発達に合った環境設定を行うことが出来るようになった。

子どもたち一人ひとりの発達を丁寧に観察することで、子どもたちに体の使い方を伝えられた。それにより体幹強化につながり、怪我をしにくい体づくりが出来た。